



国土交通省 航空保安大学校 GUIDEBOOK2023



空のnavigator **航空管制科**

空のconciierge **航空情報科**

空のengineer **航空電子科**



公式HP



YouTube

「大空の安全を支える」

航空保安業務のスペシャリストを養成する
我が国、唯一の教育訓練機関

大空を高速で三次元で飛行する航空機。航空交通が安全に秩序正しく、かつ、効率的に運航するためには外部からの支援が必要です。それが「航空保安業務」であり、国土交通省航空局の航空保安職員がこの業務に従事しています。

空の安全を地上から支える航空保安職員となるためには、高度な知識と技術を身につける必要があります。航空保安大学校は、航空保安職員となるために必要な基礎的な知識と技術を身につける基礎研修を行っています。航空保安大学校で研修を履修した職員は全国の航空官署で、航空管制官、航空管制運航情報官、航空管制通信官、航空管制技術官等として空の安全を支えています。

国土交通省 航空保安大学校



航空保安大学校の沿革

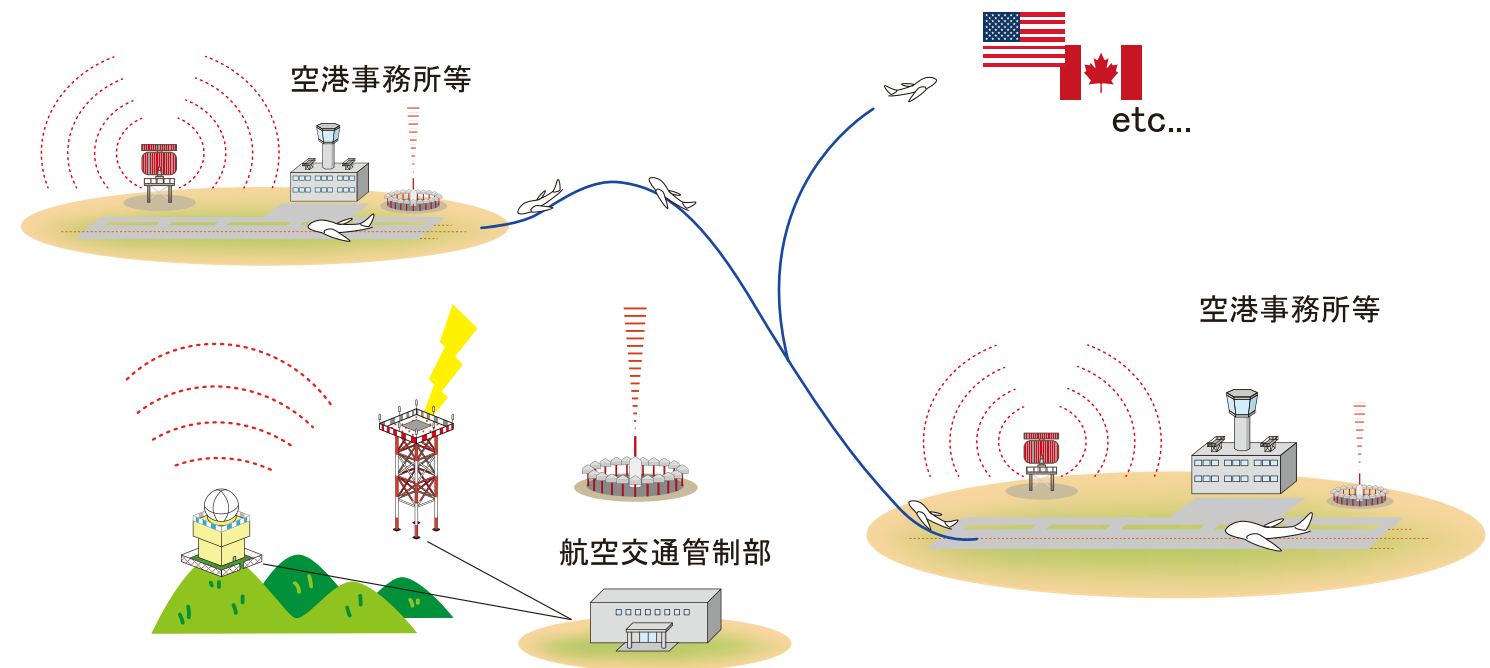
- 1959年 11月
東京国際空港（羽田）内に「航空職員訓練所」を開設
- 1965年 6月
航空局技術部に「航空保安職員訓練センター」を設置
- 1967年 7月
旧運輸省附属機関となり、「航空保安職員訓練所」に改称
- 1969年 4月
本科（航空管制科、航空通信科（現航空情報科）、航空電子科）の研修を新校舎（羽田整備場地区）において開始
- 1971年 5月
「航空保安大学校」に改称
- 2008年 4月
羽田からりんくうタウン（泉佐野市）に移転

所在地



国土交通省航空保安大学校修了後に従事する職員の職種

航空保安大学校の修了生が従事する職種は、次のとおりです。
航空管制運航情報官、航空管制技術官、航空管制官として、
全国各地の航空官署で航空の安全を支える業務に従事します。



航空管制運航情報官

航空機の運航を支援するため、無線電話によるパイロットへの必要な情報の提供、飛行計画の受理、空港の管理、行方不明になった航空機の搜索救難を始めとした、航空機の安全かつ円滑な運航を担う様々な業務を行います。

航空情報科

P5 ~



航空管制技術官

無線電話・レーダー等の管制施設や、航空機が悪天候時においてもその航行を可能とする航空保安無線施設などの運用と維持管理を担当するエンジニアです。先進の各種電子システムの設計・開発に携わる業務も行います。

航空電子科

P10 ~

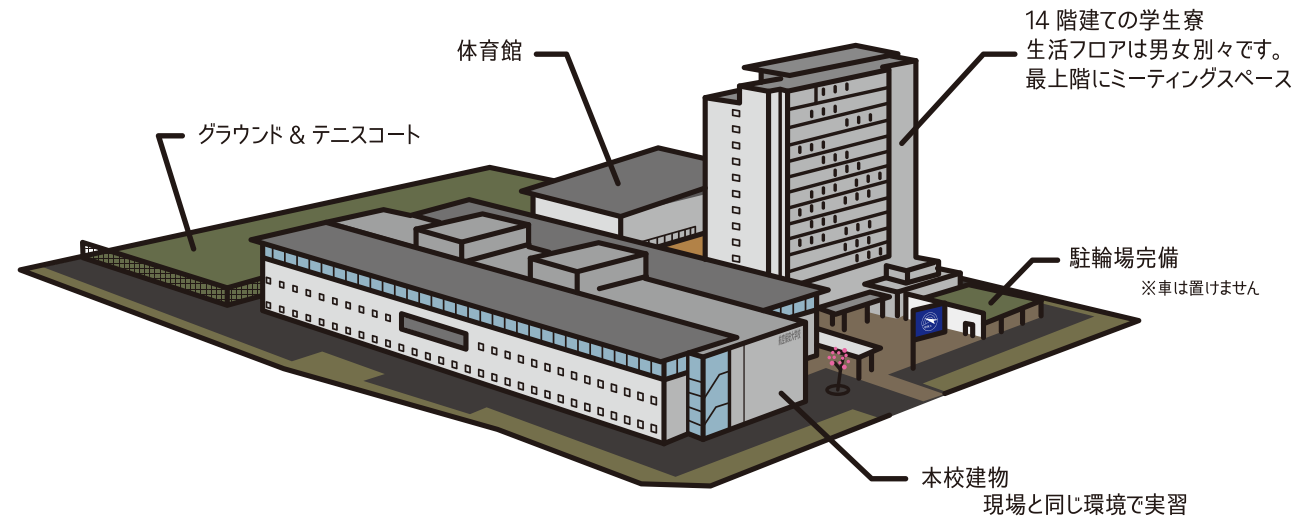


航空管制官

航空機相互間及び航空機と障害物との安全間隔を設定し、航空交通の秩序ある流れを維持促進するために、航空路などを飛行する航空機に対して無線電話やレーダーを用いて必要な指示を与えます。

航空管制官

P19 ~



採用試験から航空官署所属までの進路



航空保安大学校学生採用試験
(高卒程度)

航空保安大学校

航空情報科

航空電子科

研修期間
2年

研修期間
2年

航空管制運航情報官
航空管制通信官

航空管制技術官

航空管制官採用試験
(大卒程度)

航空保安大学校

航空管制官
基礎研修課程

研修期間
8か月

航空管制官

給与 (2022年12月1日現在)



下記の他に期末・勤勉手当（いわゆるボーナス）が
他の国家公務員と同様に支給されます。

航空保安大学校在学中
【俸給月額】（行政職1級5号俸、地域手当含む）

164,000 円程度

航空保安大学校での研修を修了し、航空管制運航情報官、
航空管制技術官として発令後（東京空港事務所の場合）
【俸給月額】（専門行政職1級1号俸、地域手当含む）

205,000 円程度

プラス【諸手当】

航空管制手当、夜間特殊業務手当、夜勤手当、休日給、
扶養手当、通勤手当、住居手当等

講義・実習



授業料・教材費は不要です。



学生寮



寮費は無料です。



学生寮個室



学生寮14Fミーティングスペースでの自習風景

学生寮には、航空情報科、航空電子科の学生だけではなく、航空
管制官基礎研修生なども入寮します。

研修修了後の職場では、他の職種との業務上の接点が多いことか
ら、研修期間中に相互の交流を深めています。

授業風景



航空情報科では、航空機の安全運航を支えるために必要な幅広い基礎知識と技能を身につけます。

数学、物理学、法学、心理学などの一般教養を学ぶとともに、社会教養では社会人として基本的なビジネスマナーを身につけながら、空のルールの基本となる国内外の航空法規をはじめ、航空機概論、航空航法、飛行計画論、航空気象学、航空情報業務論や業務用英語など幅広い分野にわたる専門科目を履修します。

また、空港などで実際に業務に就く際に不可欠な無線従事者の国家資格(航空無線通信士)及び航空管制等英語能力証明の取得のために必要な科目を学びます。

座学で得た基礎知識をもとに、運航援助、飛行場対空援助、広域対空援助及び管制通信の各業務の実習を行い、業務に必要な基礎的な技能を身につけます。実習では飛行計画や航空機の交信内容などの情報を入力するシステム端末や南紀白浜空港をモデルにしたシミュレータを用いて、パイロットから通報される飛行計画の審査・受理、航空機の運航監視や無線電話による航空機への情報提供などを学びます。2年の後半には各業務の実習を連携させた実践的な総合実習を行い、実際の業務の感覚を培います。

また、2年間の授業や寮生活を通して、航空管制運航情報官に欠かせないコミュニケーション、チームワーク、協調性などのスキルも身につけます。

航空機に情報提供する訓練をしています。



英語及び一般教養科目のほか、航空法や国際法の授業があり、許可や承認を行う立場として各条文の成り立ちや解釈について学びます。



授業では講義を受けるだけではなく、学生自らパワーポイントで作成した資料を基にプレゼンテーションも行います。

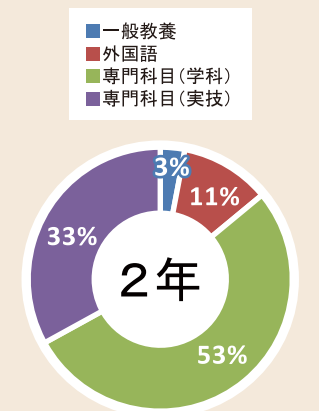
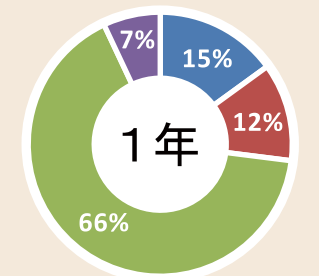
航空情報科1年：航空機の運航や通信についての基礎知識習得が主体

- ◆ 一般教養：数学、物理学、法学、心理学、社会教養、保健体育
- ◆ 外国語：英語、英会話
- ◆ 専門科目(学科)
 - ▶ 法規系：国内航空法規、国際航空法規、電波法規など
 - ▶ 航空業務系：運航情報業務概論、飛行計画論、航空通信業務論、航空情報業務論、飛行場情報業務論、対空援助論、航空航法、航空気象学、航空管制概論など
 - ▶ 工学系：航空機概論、無線工学、ITインフラ概論、ヒューマンファクター、航空無線施設概論、航空灯火概論など
- ◆ 専門科目(実技)
 - ▶ データ通信操作演習、運航援助演習1など

航空情報科2年：運航支援についての知識・技能の習得が主体

- ◆ 一般教養：保健体育
- ◆ 外国語：英語、英会話
- ◆ 専門科目(学科)
 - ▶ 航空業務系：運航監視論、許認可論、危機管理論、航空情報運用論、運航監督概論、飛行場情報運用論、管制通信論、計器進入方式、業務用英語、飛行場管制論、レーダー管制論、航空路管制論など
 - ▶ 工学系：ヘリコプター概論、プロジェクトマネジメント基礎、ネットワーク応用など
- ◆ 専門科目(実技)
 - ▶ 運航援助演習2、航空情報演習、飛行場情報演習、飛行場対空援助演習、広域対空援助演習、管制通信演習、総合実習など

授業科目の割合



校外研修



航空管制運航情報官が働いている空港等の現場において、実際の業務内容について学習する他、運航関係者等への現場見学を通じて、航空全般に関する知識を広げます。

航空機の安全運航に欠かせない「あらゆる情報を管理する」それが「航空管制運航情報官」です。システム、電話、無線などを活用し、関係する多くのセクションを連携させる役割を担っています。

運航情報官が取り扱う様々な情報は、飛行計画等の運航情報、気象情報、滑走路やスポット等の空港運用に関する情報など極めて多くの分野に及びますが、それらを的確に収集・管理するとともに、必要とするセクションに確実に伝達・提供することで、空の安全・安心を多方面から支えています。

航空管制運航情報官としての業務の他にも、洋上を飛行する航空機への情報提供を担う東京国際対空通信局や航空機乗組員へ提供される情報を一括管理・発行する航空情報センター、全国各空港の駐機場(スポット)の効率的運用の支援とともに国際・国内航空通信業務の拠点となる航空交通管理センター、国土交通省などでの企画・立案、国際会議でのルールメイク作業を含め、様々な活躍の場が用意されています。



運航援助情報業務 飛行計画の審査、運航の監視、捜索救難等



対空援助業務 空港及びその周辺・経路上の航空機への情報提供



飛行場情報業務 滑走路・駐機場（スポット）等の管理運用



ランブインスペクション 駐機中の外国航空機への立入検査



航空情報センター（成田）



航空交通管理センター（福岡）

現場VOICE



荒谷 勝洋 [1994年度採用 26期]
所属：航空局航空ネットワーク部国際航空課

国際線運航のために海外と航空交渉を行っています。

国際線を運航するためには、最初に当事国間で路線や便数等を取決めることが国際的な慣習です。私は、国際航空課の航空交渉調査官として、この二国間の取決めに締結するための、相手国との航空交渉を担当しています。航空交渉を行うにあたっては、様々な情報収集・分析やスムーズな交渉を行うための入念な準備が欠かせません。航空交渉調査官は、これらが主な業務であることから、航空交渉の要ともいえる存在だと感じています。

私は、東アジアと南アジアの各国を担当しています。直近ではブータンとの航空交渉や、中国や韓国とのコロナ禍からの復便に向けた折衝に携わりました。

業務を行うにあたっては、担当国について一番詳しくなれるよう心がけています。普段からアンテナを高くて情報収集しておくことや、外交関係機関と連携しておくことが大切です。これまでの運航情報官としての経験で培ってきた情報収集能力・調整能力が十分発揮できる仕事だと思っています。

私は、運航情報官は航空の全体像を把握することができる職種だと考えています。これから運航情報官を目指す皆様も、広い視野と高い志を持って将来の航空の安全及び発展に貢献していただければと願っています。



長能 幸司 [1997年度採用 29期]
所属：東京空港事務所

東京FAIBでは東日本の航空機の安全運航を広く支えています。

子供の頃に見た映画の影響により、航空関係の仕事(運航管理者)に興味を持ち、大学進学を目指していましたが、友人の受験により、航空保安大学校の存在を知って進路を変更しました。

この職場に来てからは、東京オリンピック・パラリンピックに参加する選手団や関係者が搭乗する航空機の受け入れに関する調整や東日本を管轄する運航拠点(東京FAIB)の立ち上げに関する調整などを担当してきました。現在は、立ち上げに関与した東京FAIBにて、航空機の運航前、運航中、運航終了後の各段階に応じたサービス提供を行う仕事をしており、運航者や空港管理者、関係省庁などと調整しながら、安全運航を支援しています。

業務の実施にあたっては、国際ルールに基づく対応や諸外国の関係機関と調整しながら進める部分があること、また上記のような国家行事にも関与することから、国際情勢の影響を強く受けます。そのため、業務の基本を理解しているだけではなく、様々な状況に対応するための応用力が必要で日々の勉強が欠かせませんが、業務の結果をオリンピックの開会式のようにニュースを通じて知る機会があるなど、世界を身近に感じることができる仕事です。



中島 亜希 [2006年度採用 38期]
所属：大阪航空局保安部運用課

航空関係者と調整し、情報をとりまとめ、安全運航に活かしています。

空港を利用する中で航空に携わる仕事に興味を持つようになり、高校在学中に航空保安大学校という存在を知り、受験しました。

現在は大阪航空局保安部運用課で飛行計画の審査や航空情報の提供といった運航支援、航空機の運航状態の監視などの運航援助情報業務に関する調整等を担当しています。これまで航空機に対する情報提供や運航者と直接接する空港勤務を経験してきましたが、航空管制運航情報官が取り扱う情報は非常に多岐にわたり、その情報の利用者も様々です。また、デジタル化の推進等、私たちを取り巻く環境も変化してきています。様々な航空関係者と接する機会が多いからこそ、連絡調整を行う中で利用者が必要としている情報は何か、求めていることは何かを意識し、空の安全・安心のために利用者に対してより良いサービスを提供できるように心がけています。

皆様も航空機の安全運航、空港の円滑な運用をサポートする一員となってみませんか。皆様と一緒に働くことができる日を楽しみにしています。



高瀬 ひろ子 [2016年度採用 48期]
所属：大阪空港事務所

幅広い業務に携わって、航空の知識を深めていきます。

私が勤務している大阪対空センターは大阪国際空港内にありますが、ここでは遠く300km以上離れた空港に離着陸する航空機へ情報を提供する対空援助業務を行っています。そのため、大阪は快晴でも担当している能登空港や鳥取空港など日本海側では大雪が降っていることも頻繁に発生します。出勤してから業務に就くまでの間には、空港の風向風速や天気の状態など専門の気象予報を確認しますが、普段の生活においても大阪だけではなく、日本全国の週間天気予報を見て心構えをするようにしています。

今現在、対空援助業務の仕事をしていますが、以前勤務していた高知空港では滑走路点検や駐機場の管理など自空港の運用に特化した業務を行っていました。

様々な業務に携わることができる運航情報官に魅力を感じませんか？ぜひ皆様の挑戦、お待ちしております。

航空無線通信士の資格や航空管制英語能力証明の取得に必要な科目をはじめ、航空機や空港に関する専門的な知識まで、航空管制運航情報官に必要な基礎知識・技能を習得します。



現役学生 VOICE

情報科54期 山上 諒

幼い頃から旅行が好きで多くの人の足となる運輸の職種に興味がありました。調べていくうちに、航空機の運航を様々な面から支援する航空管制運航情報官という職業を知りました。自分の声でパイロットと通信する業務、車に乗って滑走路を点検する業務に惹かれて航空保安大学校に入学しましたが、今ではこの業務の奥深さや幅広さに驚きながらも航空保安に携わる国家公務員の一員となることに誇りを感じています。

航空保安大学校では航空情報科学生として2年間研修に励んでいます。授業は学生同士で話し合ったり、プレゼンテーションを行ったりと楽しく能動的に学べる環境が整っています。授業内容は専門性が高いですが、分からないことがあれば同期同士で教えあい、教官や先輩と一緒に考え、丁寧に教えてくださいます。また教官は全国での勤務を経験している大先輩であり、業務や生活の体験談を沢山聴くことができ、仲間と将来を考える事が楽しくなるばかりです。

このように同期、先輩や教官が一丸となって航空管制運航情報官を目指しています。皆さんと共に学び、共に働く事を楽しみにしています。



児矢野 崇好 [1993年度採用 25期]
航空情報科教官

航空保安大学校では、幅広い業務範囲で航空の安全を支える航空管制運航情報官となるべく、基礎の訓練を受けることとなります。

私自身、漠然と空の世界にあこがれを抱いて入校しましたが、振り返ってみると航空保安大学校で学んだ基礎があり、また、さまざまな職場での先輩方からの教えや支援により、航空の安全を支える一員として働くことができ、責任や魅力も学ぶことができました。

教官として、今までの経験を踏まえて、学生に基礎の大切さや運航情報官として働くやりがいや魅力を伝えたいと思います。

航空の安全を支える縁の下の力持ちとしての一步を踏み出してください。



54TH MEMBER

情報科先輩からのメッセージ

楽しく充実した実習の様子を
YouTubeで公開しています
お待ちしております！



電子工学、コンピュータ、ネットワーク等の電子・IT系の基礎知識から、実務で必要な無線工学、航空管制システムの理論・実技、航空関係業務の知識を習得します。



現役学生 VOICE

電子科54期 小川 紗也加

私たちは、空の安全を無線やシステムという立場から支える「航空管制技術官」という業務に就くために、日々研修に励んでいます。研修は専門的な内容だけではなく、基礎的な内容からスタートするため、航空についての知識がほぼゼロであった私でも、頑張って学ぶことができています。

私たちは国家公務員として採用されているため、社会人という責任が伴いますが、同じ道を目指す同期と楽しく研修を行うことができます。

航空管制技術官となり、空の安全とともに守りたいと思ったそのあなた！一緒に活躍できることを楽しみにしています♪



辻 直大 [1993年度採用 25期]
航空電子科教官

航空電子科の卒業生は、空の安全を支えるエンジニアとして管技官(航空管制技術官)になります。しかし、どのような業務なのか？？な方がほとんどではないでしょうか？

私自身、昨年から学生を指導する立場になった今(勤続約30年)でさえ、活躍の場の多さ、業務の奥深さ、時代・技術と共に常に進化する業務に、何と説明したら…。一例ですが、人工衛星を使った運航は高度化の真っ最中ですが、活躍しているのは管技官です。航空機に搭乗しても、昔とそんなに変わらないと感じるかもしれませんが、より安全かつ効率的に進化しているのです。それを技術で支えているのは管技官です。一般大学を併願する皆様(私もそうでした)にも、得意・興味のある分野で力を発揮できる管技官の仕事が必ず見つかるはずです。

入学後は、学習面はもちろんですが生活面についても全力でサポートさせていただきますので心配無用です。最後になりますが、管技官を私なりにシンプルに説明すると「技術で航空(管制)の未来を作る仕事」です。共に成長して明るい未来を作ろう。航空電子科でお待ちしております。



54TH MEMBER

電子科先輩からのメッセージ

楽しく充実した電子科の日常を
YouTubeで公開しています!!



授業風景



航空電子科では、航空機の運航や航空管制の現場で使用される様々なシステムに関する広範な知識や技術を身につけるための学習をします。数学、物理学、法学、英語などの一般教養科目に加え、電子工学、電磁気学、コンピュータやネットワーク等の工学系の基礎知識を学んだ上で、航空保安業務に直結する通信・航法・監視システム、管制情報処理システム等の理論・実技及び航空業務などの専門科目について履修していきます。

これらの研修では座学講義だけでなく、基礎的な理論や技術を自身のものとするための演習や実験をはじめとして、修了後に即必要となる技能を習得するため、実際に空港や航空交通管制部に設置されている無線施設や測定器などを使った実習も行います。

また、航空保安業務で使用する通信・航法・監視システムの多くは電波を使用したシステムであることから、無線従事者の国家資格を取得するための学習も行い、研修修了までに第二級陸上無線技術士以上の免許を取得します。

航空電子科の学生は、航空機が安全で効率的に飛行するために必要な「航空保安システム」をテクノロジーで支えるエンジニア「航空管制技術官」となべく、ここ航空保安大学校で学びます。また、2年間の研修期間を通じて、航空管制技術官として、また、社会人として欠かせないコミュニケーションやチームワークなどのスキルも身につけます。

GPSを使用した測量作業の実習中です。



航空系学科の基礎知識に繋がる電気磁気学や電気回路学を1年次において学習します。大学の講師をむかえ授業を行っています。

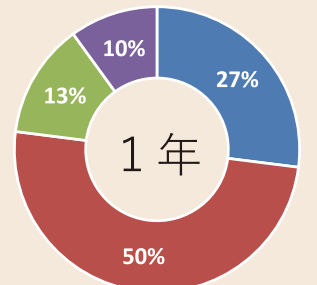


航空管制技術官が働いている様々な現場へ出かけ、実際の業務内容について学習するほか、エアライン等の見学を通じて、航空全般に関する知識を広げます。

航空電子科1年：電気・電子、情報処理の知識習得が主体

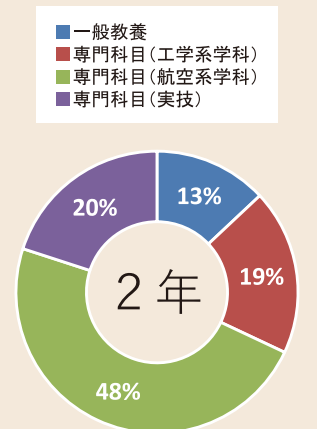
- ◆ 一般教養：数学、物理学、心理学、法学、保健体育、社会教養、英語初級（リーディング・グラマー・コミュニケーション）など
- ◆ 専門科目（工学系学科）
 - ▶ 電気・電子工学系：無線工学概論、電気磁気学、電子回路、半導体・電子管、無線機器学、空中線理論・電波伝搬理論、無線工学演習（無線従事者国家試験対策）など
 - ▶ 情報工学系：コンピュータシステム基礎、情報通信理論など
- ◆ 専門科目（航空系学科）
 - ▶ 管制技術：航空管制システム概論など
 - ▶ 航空業務・法規系：航空管制概論、運航情報業務概論、飛行場概論、電波法規、航空機概論など
- ◆ 専門科目（実技）
 - ▶ 電気電子計測、電子基礎実験など

授業科目の割合



航空電子科2年：航空管制システムのエンジニアとしての基礎技術習得が主体

- ◆ 一般教養：保健体育、英語（リーディング・グラマー・コミュニケーション）など
- ◆ 専門科目（工学系学科）
 - ▶ 電気・電子工学系：無線機器学、空中線理論・電波伝搬理論、無線工学演習（無線従事者国家試験対策）など
 - ▶ 情報工学系：情報ネットワーク理論・演習など
- ◆ 専門科目（航空系学科）
 - ▶ 管制技術系：管制技術業務概論、航空通信システム理論、航法システム理論、着陸システム理論、監視システム理論、管制情報処理システム概論、飛行検査概論、航空衛星システム概論など
 - ▶ 航空業務・法規：航空気象概論、航空灯火電気施設業務概論、国際航空法規、国内航空法規など
- ◆ 専門科目（実技）
 - ▶ 情報処理実技、Linux 実技、プログラミング実習、航空通信システム実技、航法システム実技、着陸システム実技、監視システム実技など



実習交流



航空管制技術官は、航空管制官、航空管制運航情報官および航空管制通信官との密接な業務連携を必要とします。このため、学生が主体となって他科と実習交流を行い、業務内容を学びます。（左：電子科2年から管制科へ、右：管制科から電子科1年へ）

十分な安全性のもと、数多くの航空機が効率的に運航するためには、地上の支援が必要不可欠であることから、日本全国に様々な管制システム（通信装置、レーダー、情報処理システム）及び航法システムが配置されています。「航空管制技術官」はこれらのシステムを支えるエンジニアであり、その業務はシステムの運用監視、技術操作、機能診断、点検整備といった維持・管理を行うだけでなく、日常の点検において取得したデータを分析し改善を重ねることで、更に信頼性の高いサービスの提供を追求するものです。

また、新しい技術を導入するための開発・評価や、専用の航空機で電波の状態を検査する飛行検査業務も航空管制技術官の仲間が行っており、国土交通省などでの企画立案部門も含め、活躍の場は広い範囲に及びます。



計器着陸装置 滑走路へ進入する航空機を電波で誘導



航法システム 航空機に方位、距離情報を提供



航空路監視レーダー 日本中の航空路（空の道）を監視するレーダー



GNSS 性能監視装置 衛星航法の利用可否予測や監視



統合管制情報処理システム 航空路管制に使用されている機器の運用管理を行っている。



システム統制 管轄する空港等のシステムの運用状況を監視

航空電子科では、電子工学、情報処理、航空保安業務、管制システム、航法システムの基礎知識を習得するとともに、在学中に第二級陸上無線技術士以上の国家資格を取得します。

研修修了後は空港等訓練官署に赴任し、OJT（実地訓練）を受けた後、技能証明試験に合格して航空管制技術官に任命されますが、その後も各種専門技術に関する研修・上級研修などが設けられており、生涯にわたりスキルアップを続けることができる仕事です。

現場VOICE



日高 由光 [2015年度採用 47期]

所属：中部空港事務所

航空の安全を支えるやりがいのある仕事です。

私は中部空港事務所の航空管制技術官として、航空保安無線施設やレーダー施設、管制情報処理システム等の維持管理を行っています。航空機や管制官が使用する施設を24時間体制で管理するため、幅広い知識や技術が求められますが、日々の業務や研修で身に付けた知識を活かして航空の安全を支える非常にやりがいのある仕事です。皆様と一緒に働ける日を楽しみにしています。



有村 光平 [2014年度採用 46期]

所属：飛行検査センター

空から航空の安全を守っています。

私は飛行検査センターに所属し、航空保安無線施設等が正常に動作しているか飛行検査機に乗って検査を行っています。飛行検査業務には、航空管制技術官の知識に加え、航空機や飛行方式といった多くの知識が必要となりますが、パイロットや整備士に教えてもらい勉強し、クルーで協力して飛行検査業務を行うことにやりがいを感じています。この仕事の一番の魅力は何と言っても実際に飛行機に乗り業務を行うことです。長時間のフライトでハードな面もありますが、日本全国出張できるので飛行機好き、旅好きな人には最高の職場です。みなさんも一緒に空を飛び、飛行検査センターで働きませんか？



長藤 麻由 [2020年度採用 52期]

所属：福岡航空交通管制部

システムで日本の空の安全を支えています。

私が勤務する福岡航空交通管制部では、管制業務等の円滑な実施を支援するためのシステムや航空路管制を行うための通信施設等の運用・維持管理を実施しています。福岡航空交通管制部は多くの統合管制情報処理システムの拠点官署となっているため、システムに関して専門的な知識や技術を学ぶことができます。仕事内容が幅広く大変なこともありますが、技術的な面から航空の安全を支えることのできる仕事で、とてもやりがいがあります。皆さんも航空管制技術官として航空交通管制部と一緒に働いてみませんか。



尾畑 雅章 [2002年度採用 34期]

所属：航空局交通管理部管制技術課

行政分野も経験できる幅広い職場です。

私が所属している航空局交通管理部管制技術課は、全国の空港現場等を管轄している部署で、航空機の安全かつ効率的な運航を確保する航空保安無線施設の整備、運用、評価に関する方針決定や、航空管制技術官業務の在り方の検討などを行っています。中でも航空管制技術官の教育・訓練が私の担当で、将来を見据えた人材育成の検討などに日々取り組んでいます。場所は、東京都千代田区霞が関という中央官庁の密集地帯にあり、国会議事堂や首相官邸もご近所にありますので、政治の流れを肌で感じつつ、国の中枢で働いているという充実感や緊張感を持って仕事をしております。また、仕事は航空局内に留まらず、他局や時には他省庁と協力しながら進める事もありますので、調整能力やコミュニケーション能力がより一層培われる部署でもあります。航空管制技術官の配属先は主に空港現場ですが、私の所属している部署やシステム開発を担う部署、さらには国際機関など多岐に渡りますので、皆さんが活躍できる場は既に用意されています。是非、航空保安大学校に入学して、その能力を存分に発揮していただければと思います。

イベントカレンダー

[現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの一部を中止しています。]

4月

●入学式

5月

●体育大会

6月

7月

●空の日・
オープンキャンパス

8月

9月

●校外研修

10月

●体育交流
●実習交流

11月

12月

1月

2月

●体育大会

3月

●オープンキャンパス
●修了式



航保大はここで〜す

航保大はりんくうタウン駅から徒歩5分
近隣にはアウトレットモールや
スーパー・家電量販店・ホームセンター等
商業施設がたくさんあります！



食堂スペース

平日お昼は、お弁当を販売しています。
持ち込みもOKです。

各7フロアには
共同の炊事場、
洗濯機・乾燥機完備



打ち上げ花火
寮からみえます！！

クラブ活動

新クラブ発足も可能です。



よくある質問 Q&A



航空情報科に関する質問

Q 航空管制官と何が違うのですか？

A 対空援助業務といって、管制塔で航空機に情報提供を実施する仕事がありますが、航空管制官ではありません。航空管制官は航空機を誘導して、安全運航を支える仕事ですが、航空管制運航情報官は、航空機が安全運航の判断をするための情報（気象、周辺の航空交通状況）等を伝達して安全を確保しています。

Q 航空管制運航情報官になりたいです。

A 航空情報科の研修修了後、全国の空港に配属され、OJT（実地訓練）を含む専門研修を行い、技能証明試験に合格して、初めて航空管制運航情報官に任命されます。

Q 航空管制通信官になりたいです。

A 航空管制運航情報官としての経験を積んだ後に、航空管制通信官として国際対空通信局に配属されることがあります。この業務は日本では成田空港のみで実施しているため、全員が経験できる訳ではありません。また、航空管制通信官としてずっとその業務をするのではなく、様々な官署で経験を積むことが求められます。

Q 学位取得は可能ですか？

A 学位取得はできません。採用後は国土交通省職員となります。航空保安大学校のカリキュラムは、一般の大学と違い、航空の安全を守るための職員を養成するための研修コースとなります。



詳しい内容はWEBで！

航空情報科・航空電子科のページをご覧ください。

航空電子科に関する質問

Q 航空管制技術官は、管制システムの装置などを作るのですか？

A 航空管制技術官の中には、装置やシステムの設計・開発に携わったり、データを分析してシステムを改良する業務に就くことがあります。ただし、航空管制技術官が自ら装置を製作したり、システムのプログラミングを行ったりすることはありません。

Q 航空機の装置も点検整備するのですか？

A 航空管制技術官は地上の管制システムなどの運用監視、操作、点検整備をしますが、航空機に装備される装置については行っていません。航空電子科では、地上システムが航空機側でどのように利用されているかの学習は行っています。

Q 本校に入学してから、コースの変更は出来ますか？

A 入学後に変更することは出来ません。各科によって採用試験の学科試験の内容が異なっており、また、身体測定の内容も異なっています。各科それぞれの異なった採用試験を実施し、採用していることから、入学後に変更することは出来ません。あらためて受験しなおすことになります。

エリア別出身校（2014年～2022年度採用学生：航空情報科、航空電子科）

東北

弘前南、宮城第一、仙台第二、弘前中央、宮城県泉館山、仙台二華、郡山、仙台第三、仙台青陵中等、東北学院、弘前、聖ウルスラ学院英智、安積、白石、八戸、秋田、仙台南

甲信越

長野野田、長野工業高等専門学校、星陵、北陸学院、三条、佐久長聖、長野県松本美須々ヶ丘、勝山、韭山、富山、高志、高岡第一、片山学園、福井工業高等専門学校、吉田、金沢二水、金沢西、長野西、上田

東海

名古屋大学教育学部附属、美濃加茂学園美濃加茂、一宮興道、南山、豊丘、旭野、加納、滝、菊里、富士、一宮、鶯谷、津西、春日井、愛知淑徳、恵那、明和、四日市南、川越、加藤学園暁秀、一宮西、愛知、名古屋、清水南、高蔵寺、豊橋南、津、横須賀、岐阜東、大垣東、宇治山田、中部大学春日丘

中国

祇園北、舟入、広島大学付属、呉港、鳥取西、下関中等教育、華陵、笠岡、岡山学芸館、廣進、高森、下関西、山口、徳山、府中

四国

松山西中等教育、新田、高松桜井、松山北、松山東、城東、高松北、高松商業、富岡東、高知学芸、土佐塾、松山南、高知追手前、愛光、済美平成中等、脇町、防府

九州

ラサール、筑紫丘、甲南、宮崎北、修猷館、唐津東、西南学院、致遠館、延岡、長崎日大、真和、佐賀北、春日、北筑、熊本、明善、熊本県立第二、弘学館、城南、済々黌、長崎西、東福岡、香住丘、鹿島、必由館、筑陽学園、加治木、長崎南山、九州国際大学付属、岩田、諫早、杵築、東筑、鹿児島工業高等専門学校、八幡、福岡大学附属大濠、小城、鹿児島玉龍、樟南、京都、大分上野丘、福岡、延岡星雲、福岡工業大学付属城東、宮崎南、宮崎大宮、翔翔、宮崎第一、中村学園女子、尚志館、熊本学園大学付属、国分、大分鶴崎、宇土、大分東明、熊本県立第一、東筑紫学園、福岡中央、朝倉、鹿屋中央、敬愛、人吉、鹿児島第一、鶴丸、鳳凰、海星、口加、鞍手、小倉、田川、八代、香椎

沖縄

開邦、普天間、那覇国際、那覇、昭和薬科大学付属、向陽、開邦、具志川

※採用時には、既卒者も含まれますので高校等卒業年次とは異なる場合があります。

採用試験の概要（2023年度）

※最新の情報については6月中旬に、改めて採用人数を人事院ホームページに掲載する予定ですので、確認してください。

受験資格

- 2023年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して3年を経過していない者及び2024年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- 人事院が1に掲げる者と同等の資格があると認める者

試験日程

1 受付期間
インターネット 2023年7月18日(火)～2023年7月27日(木)〔受信有効〕
受験申込みは、インターネットにより行ってください。受験案内は、[人事院ホームページ 国家公務員試験採用情報 NAVI]で確認できます。
インターネット申込専用アドレスは、[<https://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>]です。

2 第1次試験

・試験日 2023年9月24日(日)
・試験科目 基礎能力試験（多肢選択式）、学科試験（多肢選択式）
・合格発表 2023年10月11日(水)

3 第2次試験

・試験日 2023年11月13日(月)～2023年11月16日(木)のうち指定する日
・試験科目 人物試験、身体検査及び身体測定
・合格発表 2023年12月19日(火)

4 採用決定

最終合格者は試験の区分ごとに作成する採用候補者名簿（1年間有効）に得点順に記載されます。航空保安大学校では、この名簿に記載された者の中から、本人の成績等を考慮の上、採用のための意向調査を逐次行い、最終的に採用者（入校者）を決定します。（最終合格者数は、辞退者数を考慮して決定されます。）

試験地・試験科目及び方法（2022年度の例）

試験地	第1次：千歳市・岩沼市・東京都・新潟市・常滑市・泉佐野市・広島市・高松市・福岡市・宮崎市・那覇市
	第2次：千歳市・所沢市・泉佐野市・福岡市・那覇市

試験科目	内 容 【 解 答 時 間 】		配点比率
	航空情報科	航空電子科	
＜第1次試験＞			
基礎能力試験 (多肢選択式)	公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験 知能分野 20題 [文章理解（7題）、課題処理（7題）、数的処理（4題）、資料解釈（2題）] 知識分野 20題 [自然科学（5題）、人文科学（9題）、社会科学（6題）] 計40題 【1時間30分】		1/4
学科試験 (多肢選択式)	数学及び英語についての筆記試験 数学 13題 [数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B（数列、ベクトルの分野に限る。）] 英語 13題 [コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ] 計26題【2時間】	数学及び物理についての筆記試験 数学 13題 [数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B（数列、ベクトルの分野に限る。）] 物理 13題 [物理基礎、物理] 計26題【2時間】	2/4
＜第2次試験＞			
人物試験	人柄、对人的能力などについての個別面接		1/4
身体検査	主として胸部疾患（胸部エックス線撮影を含む。）、血圧、尿、その他一般内科系検査		*
身体測定	色覚、聴力についての測定	色覚についての測定	*

(注) 1 試験問題例、合格者の決定方法等の詳細については、国家公務員試験採用情報NAVI内「試験情報」→「航空保安大学校学生採用試験」をご覧ください。
2 () 内の数字は出題予定数です。
3 「配点比率」欄に*が表示されている試験科目は、可否の判定のみを行い、その他の試験科目については得点化しています。
4 第2次試験の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。
5 航空電子科では、航空保安大学校での研修において、採用試験科目以外に数学Ⅲを入学までに学習していることを前提とした講義がなされます。

近年の採用試験の実施結果

項目	実施年度 試験の区分	2021年度		2020年度		2019年度	
		航空情報科	航空電子科	航空情報科	航空電子科	航空情報科	航空電子科
申込者数		220 (106)	140 (38)	327 (166)	205 (48)	314 (142)	189 (28)
第1次試験合格者数		103 (51)	104 (24)	112 (51)	99 (20)	132 (58)	108 (17)
最終合格者数		48 (30)	78 (20)	53 (31)	68 (16)	62 (34)	70 (14)
採用者数		22 (14)	30 (11)	24 (14)	26 (8)	28 (13)	30 (7)

() 内の数字は、女性を内数で示す。

8ヶ月間の研修で航空管制官になるための基礎知識及び技能並びに無線で指示をするための航空無線通信士の資格を取得します。



研修生 VOICE

航空管制官基礎研修課程139期 仲宗根 快

家の近くの空港から大空へ飛び立つ飛行機に憧れて育った私は、高校生の時に参加した航空保安大学校のオープンキャンパスで空の安全を守る航空管制官の仕事に魅了され、目指すようになりました。

航空保安大学校での8ヶ月間の研修では、座学と並行してシミュレータを使った実習を行いながら、現場で業務をするために必要な基礎知識と技術を身につけます。覚えなければならぬことが多く、予習と復習に追われる忙しい毎日ですが、航空について事前知識がなくとも理解できる磐石なカリキュラムに加えて、キャリア豊富な教官によるきめ細やかな説明のお陰で、空の安全を守る一員になるべく日々邁進しています。実習でうまくいかない時には落ち込むこともありますが、同期と課題点を共有し、励まし合いながら共に進む過程は様々な面で自分を成長させてくれます。

同じ志を持つ同期。現場での経験を楽しそうに話す教官方の姿。学生寮からは関西国際空港が一望でき、自然とモチベーションも上がりますので、学ぶための環境が整っていると思います。みなさんも航空管制官を目指しませんか。

現役教官 VOICE



高西 宏徳 [1993年度採用 本科25期]
航空管制科教官

当校では航空管制官に必要な基礎知識と技術の習得を目的に8か月間の研修を実施しています。

研修は座学と実習で構成され、座学で業務に必要な規則や用語を学習、シミュレータを用いた実習で理解度を確認、という繰り返して知識や技術を確実に定着させます。航空無線での通信に必要な航空無線通信士の資格を取得するための科目も研修中に学習します。航空に関する予備知識ゼロからでも段階的に知識や技術を習得できる研修カリキュラムを整えておりますので、必要なのは「航空管制官になりたい!」という志一つです。

研修期間中は予習や復習に追われる忙しい日々が続きますが、教官のサポートや研修生同士で励まし合い、助け合うので心配は要りません。航空管制官の業務経験が豊富な教官が在籍しており、自身の経験上、研修生がどこでつまづき、何が理解しにくいかが分かるので、要点を押さえた指導を行います。研修生は原則として校舎隣の学生寮に入寮し、多くの時間を共に過ごすことで、互いに励まし合い、助け合いながら日々の課題を確実にクリアしており、研修が修了する頃には教官陣の予想を遥かに超える知識と技量を身につけ、管制の現場に赴任し活躍しています。

当校ではオープンキャンパスを実施しております。研修施設をご覧になり、在校生から実際に話を聞いていただく、より具体的な航空管制官のイメージを描くことができると思っていますので、当校のホームページで詳細をご確認いただき、是非ご参加ください。

航空管制官を目指す皆さんの入学を教官一同、心よりお待ちしております。



管制科先輩からのメッセージ

ナイスコントロール!を提供できる
立派な管制官を目指して、
日々仲間と協力しながら
研修に励んでいます。

「パイロットに安心を与える仕事」それが航空管制官です。「顔の見えないパイロットに安心感を与えることによって信頼を得る。」そのやりとりの積み重ねが空の安全を築いてゆきます。

航空保安大学校における基礎研修修了後は、空港や航空交通管制部等の管制機関に赴任し、OJT(実地訓練)を含む専門研修を修了した後、技能試験に合格して初めて航空管制官に任命されます。

また、空港や航空交通管制部で経験を積んだ後は、航空保安大学校等の教育機関、新たな飛行経路の設定や次世代の管制システムの開発などに携わる国土交通本省等、様々な活躍の場が用意されています。

■ 冷静さと責任感

～どんな時でも落ち着いて判断を下せるか～

航空管制官が無線を通じてパイロットに伝える言葉には、大きな責任が伴います。航空管制官の発する指示を受けて、お客様を乗せた航空機は飛行していきます。私たちはどのような状況においても冷静沈着に判断できるよう日々の業務で経験を重ね、常に最適な指示を与える必要があります。冷静さを保ち、責任感を持って適切な判断を瞬時に下せるよう、追求し続けられる人材を求めています。

■ 協調性

～チームの一員として活躍できるか～

航空機の運航はたくさんの人々の力に支えられています。航空管制官だけでなく、航空管制運航情報官、航空管制技術官、パイロット、運航関係者、そして気象庁職員などとの連携のうえに、安全運航が実現します。常日頃より自発的に行動し、仲間とのコミュニケーションを大切にしなければなりません。チームメンバーとの調和を保ちながら、自分自身を表現できる人材を求めています。

■ 自ら学び取る力

～自己研磨できるか～

航空管制官は人事異動のたびに訓練と試験を受け、新たな資格を取得しなければなりません。また航空行政の変革のスピードはめまぐるしく、規定や運用方式が改正されるたび、常に最新の情報に基づいて業務を行う必要があります。変化を恐れず向上心を持ち、周りの仲間や環境から学ぶ姿勢を持ち続けられる人材を求めています。



給与 (2022年12月1日現在)



航空保安大学校での基礎研修中も給与が支給されます。採用当初の給与の月額、4年制大学新卒、職歴がない場合、次のとおりです。

196,000 円程度
(地域手当含む)

下記の他に期末・勤勉手当(いわゆるボーナス)が他の国家公務員と同様に支給されます。

基礎研修を修了し、航空管制官として発令後(4月採用の場合)の給与の月額は、東京空港事務所配属の場合、次のとおりです。

243,000 円程度
(調整数2の俸給の調整額及び地域手当含む)

プラス【諸手当】
航空管制手当、夜間特殊業務手当、夜勤手当、休日給、扶養手当、通勤手当、住居手当等





Q 航空管制官には高い英語能力が必要とされますか？

A 航空管制業務を行うには、国際民間航空機関（ICAO）が定める英語能力証明試験を定期的に受験し、一定基準以上の成績を収めなければなりません。
緊急事態などが発生すれば、定型的な管制用語のみならず、一般的な英会話能力も必要となりますが、あくまで英語はパイロットとのコミュニケーションツールであって、他のスキルを習得することも要求されます。

Q 航空管制官には理系と文系どちらが向いていますか？

A 一概にはどちらとも言えません。航空気象や無線工学などの理数系科目、法令や英語などの文系科目など分野の違いにより得意不得意はあるでしょうが、研修生はそれぞれしっかりと勉強して乗り越えています。

Q 採用された研修生は全員研修を修了していますか？

A 基礎研修を修了するには、定められた全ての科目において合格基準を満足する必要があることから、成績不良のため修了の見込みがない場合、国家公務員としての身分を失うことがあります。

Q どのような技能が航空管制官に必要ですか？

A 航空機は自動車と違って高度差により経路が交差するので、三次元空間のイメージをしやすい人が向いています。また、複数の航空機を同時にコントロールするため、一点に集中することなくあちこちに気配りできることも大切です。それ以外にも航空機の便名や通報事項を聞いてすぐに記憶できる短期記憶能力や同時に複数の仕事をバランス良くこなす要領の良さがあると業務に役立てることができます。

Q 過去の研修生から新入生へのアドバイスなどはありますか？

A 研修生の修了時アンケートからいくつかご紹介します。
☆文系、理系、英語力の差は全く関係ありません。大事なことは謙虚に学ぶ姿勢です。
☆分からないことはそのままにせず、疑問に思ったことはどんどん調べ、質問して下さい。
教官は皆、第一線で活躍している方ばかりです。そして、得た知識・経験は同期生で共有して下さい。そうすることで理解も深まり絆も深まります。Do your best!!
☆同期はとても大切な存在です。お互いに助け合い、高めあい、励ましあい、同期生がいたからこそ厳しい研修も乗り越えることができました。皆が多様なバックグラウンドを持ち、刺激しあいながら切磋琢磨できる環境がここにはあります。

航空保安大学校HPと航空管制官公式HPに、情報がまだまだたくさんあります。ぜひ、チェックしてみてください。



航空保安大学校公式ホームページ

航空保安大学校

検索



タワーマン

航空管制官公式ホームページ

航空管制官 公式

検索



受験資格

次のうちのいずれかに該当する者

- (1)1993年4月2日から2002年4月1日生まれの人
- (2)2002年4月2日以降生まれの人で次に掲げるもの
 - (ア)大学卒の人及び2024年3月までに大学を卒業する見込みの人並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者
 - (イ)短大又は高専卒の人及び2024年3月までに短大又は高専を卒業する見込みの人並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者

試験日程

1 受験申込受付期間

インターネット 2023年3月1日(水)9:00～2023年3月20日(月)〔受信有効〕

試験の受付期間内に手続きを行ってください。

受験案内は、次のウェブサイトを確認することができます。

人事院公式サイト 国家公務員試験採用情報NAVI
「航空管制官採用試験」

受験申込みは、インターネットにより行ってください。

インターネット申込専用アドレスは、[<https://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>]です。

お使いのパソコンで申込手続きが可能かをチェックできます。インターネット申込専用アドレスへアクセスして、早めを確認してください。

2 第1次試験

- ・試験日 2023年6月4日(日) 8:50(受付開始) 9:20(試験開始)～18:30(試験終了)
- ・試験地 札幌市・岩沼市・東京都・新潟市・常滑市・泉佐野市・広島市・松山市・福岡市・宮崎市・那覇市
- ・試験種目 基礎能力試験(多肢選択式)、適性試験Ⅰ部(多肢選択式)、外国語試験(聞き取り)、外国語試験(多肢選択式)
- ・合格発表 2023年6月27日(火) 9:00

3 第2次試験

- ・試験日 2023年7月5日(水)
- ・試験地 札幌市・東京都・泉佐野市・福岡市・那覇市
- ・試験種目 外国語試験(面接)、人物試験
- ・合格発表 2023年8月15日(火) 9:00

4 第3次試験

- ・試験日 2023年8月24日(木)・8月25日(金)のうち指定する日
- ・試験地 泉佐野市
- ・試験種目 適性試験Ⅱ部、身体検査、身体測定
- ・合格発表 2023年10月2日(月) 9:00

5 採用決定

最終合格者は、採用候補者名簿(1年2ヶ月間有効)に得点順に記載されます。航空保安大学校では、この名簿に記載された者の中から、本人の成績等を考慮の上、逐次採用のための意向調査を行い、最終的に採用者を決定します。(最終合格者数は、辞退者数を考慮して決定されます。)

6 採用(予定)

採用は、2024年4月、8月及び12月に分けて行う予定ですが、その他に、先行して2023年12月に若干名を採用することもあります。
採用後は、航空管制官となるため航空保安大学校で研修を受けることとなります。研修期間は、8ヶ月間です。
※採用予定数については、人事院ホームページ 国家公務員試験採用情報NAVI で確認してください。

欠格事項

この試験を受けられない者

- (1)日本の国籍を有しない者
- (2)国家公務員法第38条の規定により国家公務員となることができない者
 - 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者その他その執行を受けることがなくなるまでの者
 - 一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者
 - 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
- (3)平成11年改正前の民法の規定による準禁産の宣告を受けている者(心神耗弱を原因とするもの以外)